

よみがえれ、ふるさとの校歌

〜鷹巣西小、統合前4小学校の校歌を再現
市内各小学校の学習発表会が10月21日、鷹巣西小、前田小など7校で開かれ、このうち鷹巣西小学校（五十嵐経校長、児童数98人）の発表会では、「よみがえれ、地域の校歌」と題し、同小統合前の4校の校歌を全校合唱で再現しました。
同小は昭和46年に坊沢小学校、黒沢小学校、七座小学校、緑ヶ丘小学校が統合して発足。
1・4・6年生が坊沢小学校と緑ヶ丘小学校を、2・3・5年生が七座小学校と黒沢小学校を担当しました。全校児童がステージに立ち、はじめに各小学校の歴史や校歌の由来を解説して1番を歌い、このあともう一度2番までを歌いました。



統合前の旧4校の校歌を発表した学習発表会

一流アーティストたちが創作活動

〜秋田国際木彫シンポジウム大会

秋田国際木彫シンポジウムが10月12日、北欧の杜公園で行われ、世界各国から参加した彫刻家たちが秋田杉の大木を素材に作品づくりに取り組みました。

この大会は来年全国植樹祭が開催されるのを機に、豊かな自然に恵まれ秋田杉に代表される「木の国秋田」を世界に発信することなどを目的として行われたものです。

大会には日本の作家8人をはじめ、ドイツ、イタリアなど11カ国から19人が参加。本県からも、6人が参加し、チェンソーやノミなどを巧みに操りながら合川地内の国有林から切り出された70〜80年生の杉の大木を素材に、創作活動に励んでいました。



19人の作家が創作活動を繰り広げた秋田国際木彫シンポジウム



「大館ERINAフラメンコ同好会」も出演し花を添えました

郷里でスペインの情熱を表現

〜三澤勝弘氏コンサート「フラメンコへの誘い」

本市出身のフラメンコギタリスト三澤勝弘氏によるコンサート「フラメンコへの誘い」が10月14日夜、市文化会館で開かれ、約300人の観衆が本格的なフラメンコギターと歌、華麗なダンスを堪能しました。

オープニングの後、三澤氏のギターソロ「ファンダンゴス」、夫人のカンテソロ「グラナイナス」で生きる喜びや悲しみ、苦しみなどを表現するフラメンコの世界に引き込まれました。さらに、2部では「ソレア」、「ガロティン」、楽曲「シギリージャス」などを、小池氏など4人のプロダンサーが一人ずつ入れ替わりながら激しくも華麗に踊り、観衆はその雰囲気にも圧倒されていました。



「蛸搦き」などでダム堤体の盛り立て工事完了を祝う地元住民

森吉山ダム堤体完成祝う

〜森吉山ダム堤体盛立完了式典

平成23年完成予定の森吉山ダムの堤体盛立完了式典が10月19日、北秋田市根森田地区の堤体で行われ、関係者ら約180人が参加して盛立の完了を祝いました。

式典で、森吉山ダム建設促進期成同盟会会長の岸部市長は「工事が順調に進んでいる。治水、利水に大きな役割を果たし、周辺観光への活用にも期待している。同盟会としても活動を強化したい」と述べました。

引き続き「最終盛立」が宣言され、昔人力で行っていたころの千本搦きや蛸搦きを米内沢、前田、浦田の3小学校の6年児童約70人や地元住民が木の棒などでつき、盛立を完了しました。

花の展示やミニコンサートなど多彩

〜フローラル・フェスタ

花と緑に親しむ「フローラル・フェスタ」が10月13・14日の2日間、北欧の杜公園のパークセンターを主会場に開かれ、大勢の市民が多彩なプログラムで楽しみました。

会場では、押し花やガーデニングの体験教室、作品展示コーナー、季節の花や苗の販売所などが設けられ、家族連れが各コーナーを巡りながら、作品づくり体験や鑑賞で季節の花の色と香り、表現を堪能していました。屋外ステージでは、太極拳の演舞やダンス、またマンドリン演奏やアマチュアバンドのミニコンサートなども披露され、さわやかな秋風が吹く公園内は、花の彩りと音楽に包まれていました。



押し花サークルによる体験教室に挑戦する参加者

郷土の料理に舌鼓

〜阿仁の食と芸能フェスタ

「第1回阿仁の食と芸能フェスタ」が10月13日、阿仁農林漁業体験実習館で開かれ、森吉山の紅葉観賞に訪れた観光客が参加し、郷土の料理と芸能を満喫しました。

同フェスタは、森吉山の紅葉を眺めながら、阿仁の豊かな秋を食べて・観て楽しんでもらおうと、地元有志による実行委員会が主催。

「阿仁の郷土料理バイキングメニュー」として、だまっこやきのこ汁、山ブドウ漬、ナッツなど10種類以上の阿仁づくし料理が振舞われ、あつという間に完食する人気でした。また、根子番楽の勇壮な舞と力強い風張太鼓が上演され、紅葉し始めた景色の中、参加者たちは「阿仁の秋」を堪能しました。



阿仁の郷土料理がズラリと並んだバイキング